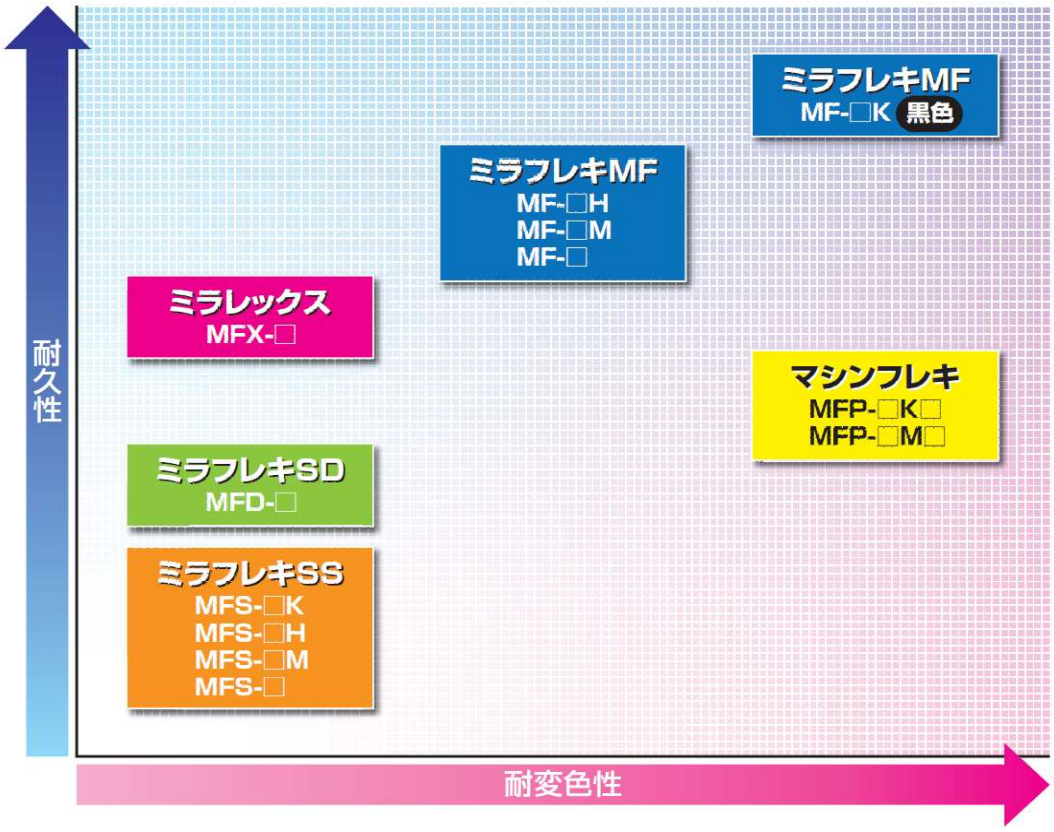
可とう管耐候性相対比較

※配管を曲げて施工した場合の相対イメージです。
※使用環境・施工状態により、耐久性及び耐変色性に違いが生じます。
※管の施工は、法規（内線規程・電気設備技術基準・等）に従い行ってください。



ご注意

※耐候性（紫外線）劣化が懸念される場合は、「ミラフレキ MF（PFD）」をお勧めします。
※管の曲げがきつい場合は、曲がりコネクタ等を使用し、管の曲げを緩和してください。